

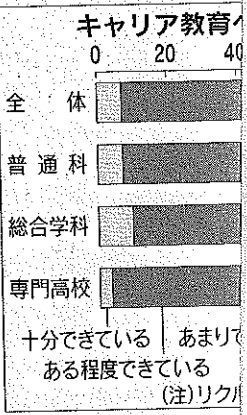
【第三種郵便物認可】

リクルートの調査で分かった。教員の知識不足や時間的な余裕のなさが原因とみられる。文部科学省はキャリア教育の充実に力を入れているが、現場での体制づくりが課題となりそうだ。

職業観育成へ体制課題

高校の学習指導要領 状況は調べるため、昨年は2010年度からキャリア教育推進を義務付け、地域や産業界と連携してインターンシップ（就業体験）などに組織的に取り組むよう求められている。リクルートは実施

高校のキャリア教育が指導要領の内容に「対応」と、各校の種類別にみる



大気汚染 花粉症悪化、仕組み解明

東大など アレルギー起きやすく

東京大学と独マックスプランク化学研究所などは、大気中の汚染物質が花粉などと反応してアレルギーをより起こしやすいになる仕組みを解明した。有害な光化学スモッグが、花粉症をひどくしていた。東大博士課程でドイツに留学中の白石学さんらの成果。21日に英科学誌ネイチャー・ケミストリーの電子版に掲載される。

研究チームはオゾンからできた活性酸素が、さまざまな微粒子と反応していることを見つけた。オゾンと花粉と反応させて活性酸素ができた。

さらに活性酸素は、光化学スモッグの一因とされる大気汚染物質の二酸化窒素（NO₂）を花粉のたんばく質と結びつけ、通常よりも2〜3倍

アレルギーを引き起こしやすい状態にした。外国人の専門家に配属

琉球使節の踊り 160年ぶり再現

中国発祥、幕

徳川将軍の代官祝つた琉球王。1850年



琉球の踊り

時流 地流

◆1週間ほど前、雪が降り積もる東京の郊外で花を開いた紅梅を見つけた。ほんの教輪だが、春はすぐそこだ。ふと童謡「春よ来い」の1節が頭に浮かんだ。「あるきはじめたみいちゃん(中略)おもへ出たいと待っている」。新潟県出身の相馬御風が幼い娘に思いをこめて、「春よ来い、早く来い」とこの歌を作詞したのは大正12年のことだ。

花粉発生源のスギ林が嘆く

◆森林面積の約4割を占める人工林のルーツは戦後の国の拡大造林政策だ。木材需要の急増で成長の早いスギやヒノキが全国各地に植林され、当時の国民も木材利用が可能となる50年後を心待ちにしていた。ところが安い輸入材の登場で状況が一変。国産材が使われなくなり、人工林は半ば放置された。花粉を飛ばすだけの存在になってしまった。「花粉症は薄情な国民が自ら招いたのですよ」と迷惑顔で叫びたいところだ。

者とされるスギ花粉症が猛威をふるう季節だ。特に3月の「おんも」(家の外)は原因物質のスギ花粉が大量に飛散し、重症者は帽子、マスクの徹重装備なしには出られないものではない。

◆環境省の予測では今年の飛散量は昨シーズンの2〜6倍、多い地域では10倍以上というからなおさらだ。花粉発生源のスギの人工林に国民の怨嗟(えんさ)の目が向けられるのもこの時期だ。だが、物言わぬ人工林にも言い分はある。

(戸所寛美)